



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754  
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第337号

2017年10月2日

発行

日本共産党  
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田  
312-5

## 学校統廃合で市長と対話集会

9月22日、学校統廃合問題の市長対話集会が米本団地自治会主催で行われました。米本団地集会所は70名近くの参加者であふれました。

市教育委員会は阿蘇中学校の場所に施設一体型の「小中一貫校」（義務教育学校）を設置する計画を進めています。この計画が実行されれば、米本小・米本南小学校が廃止され、米本団地から学校がなくなってしまいます。

二つの学校がなくなってしまうという危機感を持った米本団地の人たちは、短期間に「米本団地から小学校をなくさないで」という署名を1735筆集め、市長と教育長に提出し、話し合いと交渉を行い、今回の集会に至りました。



学校統廃合問題の対話集会

## 市の統廃合計画に抗議・批判が続出

市の説明ではもっぱら「小中一貫校」のメリットが強調されました。参加者からは、なぜ団地の小学校をなくしてまで「小中一貫校」をつくることにしたのか納得できる説明を求めて意見が続出しました。

「少人数で教育にならないというが、団地や学校でそういう話を一度も聞いていない」「小中一貫校の説明を受けていないのだからこの話は白紙撤回にすべき」「ゼロから住民と一緒に話し合いをして欲しい」「小中一貫校のいいところだけでなく、デメリットも研究すべきだ」「子どものため、子どものためと、連呼するほど八千代のためと聞こえる」「若い人が団地から引っ越している。市は団地を限界集落にするつもりか」と厳しい批判の声が続きました。

## 計画を白紙に戻し、団地に小学校存続を

服部市長は「結論ありきや議論の持って行き方が悪いなど瑕疵（かし）はある」と発言。教育委員会も「理解していただけないことを反省している」と述べました。教育権は親にあり、そして子どもたちのものです。その権利を無視したやり方は、地域の人々の理解を得られないのは当然です。

これまで市と教育委員会は、地域や学校のあり方を住民と一緒に考えるという姿勢が全くありませんでした。市長は「瑕疵はある」と認め、教育委員会も住民の理解を得られていないことを反省しました。瑕疵があり、住民の理解を得られない米本団地から学校がなくす「小中一貫校」計画は白紙に戻すべきです。